資料	3

「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」次期計画の方向性と施策（ワークシート）

現　計　画

基本目標	方向		施策	
高齢者がその尊厳を保ち、健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、支援が必要になっても地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指します	Ⅰ	健康で生きがいを感じながら活躍し続けられるために	1	健康と元気でいられる環境づくり
			2	知識・経験や能力を生かして活躍し続けられる機会の充実
	Ⅱ	住み慣れた地域で暮らし続けることができるために	3	必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくり
			4	地域の資源やつながり、専門職の連携を生かした地域の支え合いへの支援
			5	認知症の人が安心して暮らせるまちづくり
	Ⅲ	介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されるために	6	介護サービス基盤の整備
			7	高度化する介護ニーズへ対応できる人材の確保

次　期　計　画

元気な高齢者　　後期高齢者の増加　　現役世代との連動

地域共生社会

認知症高齢者の増加

視　点

【高齢者の介護予防・健康づくり（健康寿命の延伸）】
- ●地域における介護予防活動の活性化
- ●健康になれる環境づくり
- ●地域ぐるみ職場ぐるみでのフレイル予防・健康づくりの推進
- ●生活習慣の改善や疾病予防も踏まえた生活機能を維持する取り組み

【高齢者の生きがい、活躍の場づくり（多様な就労・社会参加の環境整備）】
- ●社会参加活動への意欲を高める取り組み
- ●地域の支え手として活躍できる環境の整備
- ●就業機会の拡大

【地域包括ケアシステムの推進（自分らしく地域で安心して暮らすことができる社会の実現）】
- ●自身が有する能力に応じての自立した日常生活の継続
- ●地域の居場所・関係機関・人材等を結ぶネットワークの強化
- ●支援が必要になった高齢者を支える環境の充実
- ●認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる地域づくり
- ●地域を支える担い手の確保

【持続可能で効果的な介護サービスの基盤整備】
- ●介護サービス需要の増加に対する地域の特性に応じたサービス提供体制の整備
- ●現役世代の減少を見据えた介護サービスの効率化
- ●介護人材の確保・資質の向上
- ●介護職の働き方改革

キーワード

- QOLの維持・向上
- 地域の通いの場
- 担い手づくり
- 健康寿命延伸プラン
- 自己有用感
- 学びの場
- 参加と協働
- 就労の場の確保
- 地域資源
- 認知症施策推進大綱
- 地域力の向上
- 認知症の方の社会参加
- 医療・介護の連携
- ニーズに応じたサービスの確保
- 介護人材の確保
- 介護現場のイメージ刷新
- ＩＣＴ・ロボット（業務負担軽減）

単身又は高齢者のみの世帯の増加

新しい生活様式

現役世代の減少　　全世代型社会保障　　8050問題